

萩を若者の人生の「とまり木」に

一般社団法人motibase(モチベース)代表 和泉 宏さん

元萩市地域おこし協力隊の和泉宏さんが代表を務める一般社団法人motibaseは、今年4月に開学した通信制大学「ZEN大学」の委託を受けて、萩市での地域連携プログラムを開始した。協力隊時代から手がける市内高校生向けの「萩探究部」とともに、若者が将来を見つめるきっかけづくりが進んでいる。

ZEN大学は、日本最大級の通信制高校を運営する学校法人角川ドワンゴ学園などが設立した通信制大学。全国の自治体と組

んだ「地域連携プログラム」が特徴で、萩市とは昨年4月に事業連携協定を結んだ。

連携プログラムは、市内各地でのフィールドワークなどを通して

実社会に役立つ経験を積み、自分を磨いたり、対話を通して他者を支えたりすることを目指す。「萩が第二の故郷になるような時間を過ごして欲しい。人生の節目節目で立ち寄る『とまり木』のような場所になれば」と考える。

着想は学生時代。オーストラリア留学で

接した貧困家庭の子や、帰国してそのまま1年間滞在した宮城県女川市で出合った被災した子から、視野の狭い世界で生きていた自分に気付かされたという。

「大人を知ること子どもと向き合う視野が広がる」と考え、一般企業に就職したが、いずれ山口県に帰り教育に携わると決めていた。ただし目指したのは、教員ではなく学校と生徒や保護者、地域をつなぐコーディネーター。萩市地域おこし協力隊の募集は



和泉 宏さん

1994年光市出身。山口大教育学部卒業後、東工で企業の人事部を対象としたコンサルティングに業務に従事。令和3年に萩市地域おこし協力隊に着任し、高校での探究学習・キャリア教育の充実に努めた。現在、(一社)motibase代表。

桑原陽子と仲間達

Vol.IV

はあぶじジョンでは、長門市出身で、ドイツを拠点に活動中のピアノスト・桑原陽子さんと仲間達のコンサートを、コミニティーチャンネル121chで放送する。

桑原さんは、桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大音楽部門ピアノ科を経てドイツに渡り、リユーベッ

ク国立音楽大ピアノ科大学院課程に入

学。卒業後、同大学コレペティ科大学院課程に進学して講師資格を取得。同大で講師として様々な楽器、声楽の伴奏を務めるほか、ヨーロッパ各地で演奏活動をしている。幼い頃には、萩市内の催しでも演奏を披露していた。

今回放送するのは、8月3日に長門市で開かれた「桑原陽子と仲間達Vol.Ⅵ」。

出演は、桑原さんのほか、東京藝大、リユーベック音楽大を経てベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーに在籍する戸澤采紀さん(バイオリン)、ドイツ出身で数々のコンクール受賞歴があるマルグレータ・ヘーファーさん(チェロ)の3人。演奏曲目は、フォーレ作曲「夢

のあとに」「ピアノ三重奏」「二短調、ラヴェル作曲「バイオリンとチェロのためのソナタ」、ドビュッシー作曲「2つのアラベスク」より、「チェロとピアノのためのソナタ」など。

高校野球中国大会

コミニで生中継

春のセンバツ甲子園大会の出場校を占う秋季中国地区高等学校野球大会が、山口県内2球場

シリーズ華夷弁別

— 若者たちの挑戦 —

華夷弁別とは中国から来た言葉で、吉田松陰は弟子たちに「その地でがんばればそこが中心となる」と教えた。番組では、萩阿武地域で活躍している人に密着取材。

放送時間：月曜～日曜 午後7時～ほか

理想的だった。「任期の3年間で可能性は見たが、永続的に事業のためには受け皿となる組織が必要」と立ち上げたのが(一社)motibaseだ。

主要事業の一つが「萩探究部」。今年は過去最高の約20人が参加した。今後、中学生の部活体験などにも取り組む。「ZEN大学で外から来る学生と地元の人との出会いによる化学反応にも期待したい」という。

で開かれる。はあぶじジョンでは、大会の模様を生中継する。大会には県予選を勝ち抜いた各県3校(山口県は4校)の計16校が出場。10月24日(金)から26日(日)に山口マツダ西京きずなスタジアム(山口市)とユーピアールスタジアム(宇部市)で1回戦から準々決勝、11月1日(土)と2日(日)にユーピアールスタジアムで準決勝と決勝が行われる。